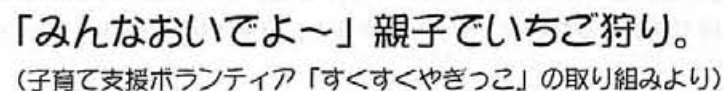


第2号

あたたかい
太陽の光を
いっぱいあびて
真っ赤に
育った
大きないちご
「上手に
くれたね」
甘くておいしい
いちごだよ
おがあさんと
いっしょ
うれしいな



 この広報誌は皆様からの赤い羽根共同募金の配分金によってつくられています。

トピックス

毎月第2、第4水曜日10時から「殿田交流センター」で「子育てサロンママハウス」を開いています。お母さんどうしが気軽に集まれる場所です。先輩ママも大歓迎！ふらっと立ち寄ってみてください。



南丹市立新庄小学校では、毎朝子どもたちが安全に登校できるように、校区内のシニアの皆さんが「新庄子ども見守り隊」のボランティアとして活躍してらっしゃいます。少しの時間ですが、世代をこえた「つながり」を作る大切な時間ですね。



子どもたちとおがあさんの地域ふれあいの場「南丹市健やか子育てセンター」（園部）の子育て広場に「お手玉づくりの会」のボランティアの皆さんが訪問されました。



★支所だよりの発行★

各支所から、毎月身近な「ふくし」の情報をお届けしています。



平成18年度 事業報告と決算状況

新社協として本格的に運営を開始しましたが、特に、住民と一体となって社協活動を推進していく柱として、役員会、企画委員会が中心の役割を果たしながら、地域福祉活動計画策定のための議論に着手でき、いよいよ本格的に将来像を描くための土台づくりができました。

中・長期的な視野に立つて実のある基本計画の立案ができるよう、地域住民との協働はいうまでもなく、支所間の連携強化や、今後取り組むべき事項を明確にしました。

地域福祉事業では、これまで地域で培ってきた地域福祉活動を大切にしながら、介護予防事業を始めさまざまな事業に取り組みました。また南丹市から南丹地域包括支援センターを受託し、高齢者の総合相談窓口、予防支援事業所として活動を行いました。

介護保険、障がい者施設等のサービス分野では、介護保険法の大規模な改正や自立支援法の本格実施等により、経営的にかなり厳しさを強いられる部分もありましたが、住民の皆様に親しまれる事業所を目指して、職員の意識の向上に努力してまいりました。

■地域福祉事業

合併により「福祉の後退があった」と市民から思われぬよう、地域福祉に携わる職員が改めて気を引き締めた1年でした。そんな中で、急激な高齢化に伴い、介護予防・生活支援事業がおひとり暮らし高齢者や高齢世帯の方々の生活を根底から支えていることを強く感じました。

ふれあいネットワークの更なる展開を図り、地域住民自らが支えあう土壌づくりを進めることを基本方針に掲げ「高齢者見守り隊事業」を開始し、地域の中での協力・連携の基盤が整いつつあることは大きな前進だと思われまます。

■南丹地域包括支援センター運営事業

南丹市から受託して1年目であり、多くの市民に周知してもらうため、広報啓発に力を入れました。地域ケア会議を継承したり、ケアマネージャー支援のための研修や情報交換の場を提供しました。

■居宅介護支援事業

ケアマネジメントが介護保険における根幹であるという意識の下、利用者の望む暮らしの実現に向けて、すべてのケアマネージャーが全力を挙げて支援を行うよう努めました。

■訪問介護事業【ほほえみ八木・日吉・美山】

実績は伸び悩みましたが、3つの訪問介護事業所で、訪問介護が在宅福祉の柱であるという認識をもち、自立に向けた生活が送れるようにサービスを提供しました。

■訪問入浴介護事業

入浴サービス提供エリアを拡大し、サービス提供の充実に取り組み、広域的なサービス提供に努めました。

■通所介護事業【ほほえみ八木通所介護事業所】

食事、入浴、レクリエーションなどを通して、他の利用者との交流を図り、その身体能力に応じて、可能な限り自立した日常生活を送っていただけるように支援を行いました。

■認知症対応型通所介護【やぎ詩の郷】

自宅と同じような環境で、認知症の高齢者に介護サービスを提供しましたが、利用者拡大には至らず課題として残りました。

■児童デイサービス事業「つくし園」

日々の記録や複数の職員による見守りを通じて職員間の意思統一を図り、一人ひとりを大切に、その児童の力を最大限に生かせる工夫をということで、個別支援計画の重大さを認識して事業を行いました。

■「あじさい園」

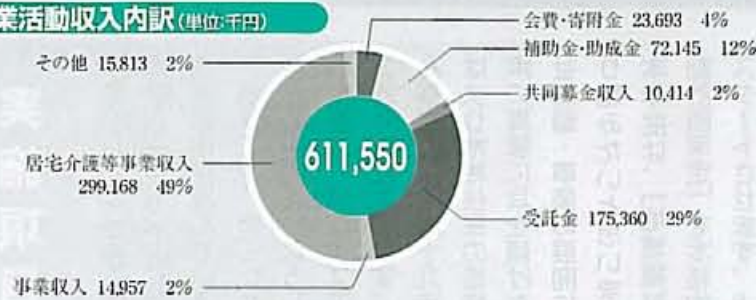
自立支援法の施行がもたらした利用者や施設の様々な課題を、問題に照らし合わせながら、自らの施設の点検を行い、次年度以降の新体系移行に向けて対応を模索する年となりました。

■「みやま共同作業所」

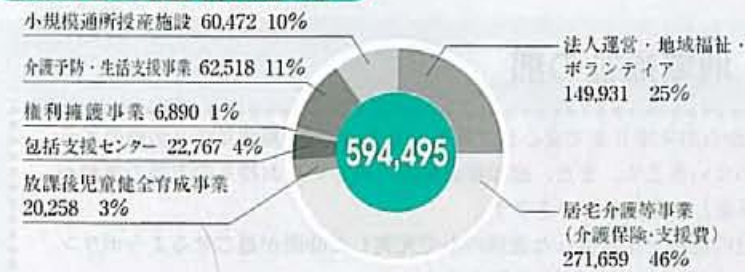
「働く場、日中活動の場、地域との交流、ボランティア育成」という基本的な活動の上に「福祉から就労へ、就労や生活の場を共同で創出するためのネットワーク作り、自立支援法へ対応」を中心テーマに掲げて事業を行いました。

平成18年度 決算の状況(単位:千円)

事業活動収入内訳(単位:千円)



事業ごとの支出内訳(単位:千円)



資金収支決算書

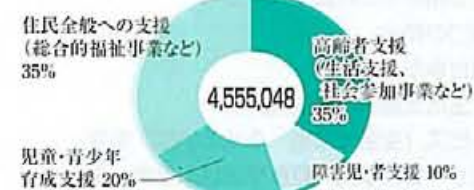
収支区分	決算額
経常収入	722,717
経常支出	694,130
経常活動資金収支差額	28,587
施設整備等収入	3,420
施設整備等支出	14,204
設備整備等資金収支差額	△ 10,784
財務活動収入	10,660
財務活動支出	18,756
財務活動資金収支差額	△ 8,096
当期資金収支差額計	9,707
前期末支払資金残高	146,623
当期末支払資金残高	156,330

事業活動収支決算書

収支区分	決算額
事業活動収入計	611,550
事業活動支出計	594,495
事業活動収支差額	17,055
事業活動外収入計	109,966
事業活動外支出計	109,874
事業活動外収支差額	92
経常収支差額	17,147
特別収入計	9,589
特別支出計	9,958
特別収支差額	△ 369
当期活動収支差額	16,778
繰越活動収支差額	
前期繰越活動収支差額	247,217
当期末繰越活動収支差額	263,995
基本金取崩額	0
基本金組入額	0
その他の積立金取崩額	9,700
その他の積立金積立額	9,425
次期繰越活動収支差額	264,270

赤い羽根共同募金に温かい善意とご協力をありがとうございました。

平成18年度 共同募金配分金事業実績(単位:円)



平成18年度 歳末たすけあい事業実績(単位:円)



「日本赤十字社員増強運動」にご協力ありがとうございました。

ひとたび災害が発生すると、赤十字は都道府県・市町村、あるいは地域住民の方々と協力し、救護活動を展開します。また、地域福祉やボランティア活動など地域に根ざした活動についても、赤十字は密接なつながりがあります。赤十字の活動は、それぞれの地域で実施されることから、地域の活動を地域の方々に支えていただけるようにご協力をお願いしています。このような活動を行うための資金となる社費を地域の方々にお願いするにあたり、各支部では直接ご依頼する他、市町村や自治会・町内会のご協力をいただいています。

南丹市社会福祉協議会(南丹市社協)

案内板

本所

(日吉町保野田垣ノ内11番地)
☎0771-72-3220

総務課
地域福祉事業課
地域包括支援センター
(あんしんなんたん)
居宅介護事業課
障がい者自立支援事業課

日吉支所

(日吉町保野田垣ノ内6番地4)
☎0771-72-0947

地域福祉事業課
ほほえみ日吉
居宅介護支援事業所
訪問介護事業所

美山支所

(美山町島往古瀬8番地)
☎0771-75-0020

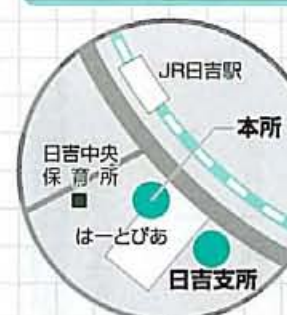
地域福祉事業課
ほほえみ美山
居宅介護支援事業所
訪問介護事業所
みやま共同作業所

美山支所



美山支所

本所 日吉支所



園部支所

八木支所



八木支所

(八木町西田山崎17番地)
☎0771-42-5480

地域福祉事業課
ほほえみ八木
居宅介護支援事業所
訪問介護事業所
訪問入浴介護事業所
通所介護事業所
やぎ詩の郷
(認知症対応通所介護事業所)
あじさい園(通所授産施設)

園部支所

(園部町上本町南2番地22)
☎0771-62-4125

地域福祉事業課
ほほえみ園部
居宅介護支援事業所
つくし園(児童デイサービス)

平成19年度 一般・公益会計予算

収支 区分	勘定科目	区分	単位：千円
経常活動収支	会費収入		9,691
	寄附金収入		9,640
	経常経費補助金収入		67,167
	受託金収入		99,070
	事業収入		15,244
	共同募金配分金収入		10,265
	介護保険収入		262,483
	利用料収入		20,543
	雑収入		1,000
	受取利息配当金収入		520
	会計単位・経理区分間繰入金収入		76,163
	経常収入計(1)		571,786
経常活動支出	人件費支出		384,204
	事務費支出		13,982
	事業費支出		102,413
	共同募金配分金事業支出		10,265
	助成金支出		4,209
	会計単位・経理区分間繰入金支出		76,163
	経常支出計(2)		591,236
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△19,450
施設整備	施設整備等収入計(4)		0
	施設整備等支出計(5)		160
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△160
財務活動収支	財務活動収入計(7)		23,000
	財務活動支出計(8)		3,390
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		19,610
	予備費(10)		0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0
	前期末支払資金残高(12)		17,000
	当期末支払資金残高(11)+(12)		17,000

平成19年度 授産施設特別会計予算

収支 区分	勘定科目	区分	単位：千円
授産事業活動収支	収入	授産事業収入	8,215
		授産事業収入計①	8,215
	支出	授産事業支出	8,215
		授産事業支出計②	8,215
		授産事業活動資金収支差額③=①-②	0
福祉事業活動収支	収入	寄附金収入	20
		経常経費補助金収入	18,106
		受託金収入	39,983
		事業収入	50
		雑収入	100
		福祉事業収入計(1)	58,259
	支出	人件費支出	45,709
		事務費支出	6,393
		事業費支出	5,545
		福祉事業支出計(2)	57,647
		経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	612
		予備費(4)	612
		当期資金収支差額合計(5)=(3)+(4)	0
		前期末支払資金残高(6)	0
		当期末支払資金残高(5)+(6)	0

引き続きよろしく
お願いいたします。

【会長】麻田 勝司
【副会長】高井 豊
【副会長】湯浅 満男
【副会長】山内 三郎

社協新体制が
決まりました

平成19年度 事業計画書

本年度重点 実施項目

合併して一年が過ぎ、相変わらず少子高齢化、核家族化が進んでいるのが現状です。あらためて地域の中で住民どうしのつながりがクローズアップされてきています。そんな中で、平成19年度はより地域住民の皆様の声に真摯に耳を傾けた福祉活動・事業の展開に取り組みたいと思います。本年度は、「地域福祉活動計画策定」を本格的にスタートさせます。より広域な南丹市エリアで、より皆様に親しまれる職員を意識しながら専門集団として組織力の強化を目指します。

また、会員（普通会員、特別会員、賛助会員、ふるさと会員）の増大に力を入れ法人運営の基盤強化に取り組めます。

地域福祉の部

「高齢者見守り隊活動」をはじめ、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるよう、「小地域見守り活動のネットワーク」作りを住民の皆様と協働して進めていきます。また、認知症高齢者や障がいをお持ちの方等の権利が損なわれないよう「福祉サービス利用援助事業」を推進していきます。

団塊世代の大量退職と言われる昨今、住民の皆様が住み慣れた地域の中で充実した時間が過ごせるようボランティア活動、市民活動振興のための「場」と「きっかけ」づくりに努めます。

高齢者の総合相談窓口として「南丹地域包括支援センター（愛称：あんしんなんたん）」を受託し、その、サブセンターを各支所に設置し、より一層センターの機能充実に努めます。

- ①ふれあいサロン活動の支援
- ②広報・啓発活動の推進（法人広報誌、支所だよりの発信）
- ③福祉教育への支援
- ④住民懇談会の実施
- ⑤各種団体・サークルへの支援、ふくしまつり等住民イベントへの協力
- ⑥ボランティア活動、ボランティア連絡協議会への支援
- ⑦ボランティア養成講座・体験講座の実施
- ⑧共同募金事業
計画的な募金に対する市民への協力依頼
- ⑨日赤社員増強運動
普及と社員増強及び事業費の有効活用

- ⑩福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の実施
- ⑪心配ごと相談事業
相談員による相談及び弁護士による法律相談窓口の開設
- ⑫福祉資金貸付事業
- ⑬介護予防・生活支援事業の受託実施
・配食サービス（生活支援型・ふれあい型）事業／
外出支援サービス事業／軽度生活援助事業／生きがい活動支援通所事業（八木支所、美山支所）
・家族介護者交流事業の実施
- ⑭高齢者の総合相談窓口
「南丹地域包括支援センター」の受託

居宅介護事業・施設運営の部

介護保険法、自立支援法等の法令を遵守し、個人情報保護の徹底と利用者の権利擁護を行い、透明性の確保と、より高いサービスの提供につとめます。

また、社会福祉協議会の特性を活かしたサービスを提供できるよう、職員の資質向上と、研修等に積極的に参加し、より質のよいサービスの提供につながるよう努力いたします。

- ①居宅介護支援事業
- ②訪問介護（介護予防訪問介護、障害者居宅介護支援）事業
- ③訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業
- ④通所介護（介護予防通所介護、障害者デイサービス）事業
- ⑤地域密着型認知症対応型通所介護事業（やぎ詩の郷）
- ⑥児童デイサービス事業（つくし園）
- ⑦小規模通所授産施設運営事業（あじさい園／みやま共同作業所）

高齢者の 総合相談窓口

南丹地域包括支援センターからのお知らせ

～愛称・あんしんなんたん～

事務所が八木支所内から本所内（日吉町）に移転しました。地域で暮らす高齢者の皆さんをさまざまな面から支えます。

「介護保険の申請をしたけどどうしたらいいかわからない・・・」

「離れて住んでいる親のことが心配で・・・」

「近所に気になる人が・・・」

心配なこと、気になることなど何なりとご相談ください。

住み慣れた地域でいつまでも生活していけるよう積極的にご利用ください。

住 所 / 南丹市日吉町保野田垣ノ内 11 番地 ☎ 0771-72-0214

